

保健だより 7月号

茨城県立境高等学校

コロナワクチン

国内での 65 歳以上の希望者への接種が進み、区や市町村によっては 65 歳未満の接種も始まっています。皆さんは自身のワクチン接種についてどのように考えていますか？情報収集をして、家族と一緒にしっかり考えましょう。

ワクチンの種類

コロナワクチンは今まで皆さんが接種してきたワクチンとは違う、新しいタイプのワクチンです。

不活化ワクチン（インフルエンザ、日本脳炎など）感染する能力を消失させたもの

生ワクチン（はしか、水疱瘡など）毒性を弱毒化し病原性をなくしたもの

トキソイド（ジフテリア、破傷風など）毒素だけを除いて毒性のない細胞で作るもの

m-RNA ワクチン（コロナワクチン）ファイザー・モデルナのワクチンで、m-RNA（コロナウイルスのスパイクタンパク質の部分のみの設計図）を油膜でコーティングしたもの。

油膜として PEG（ポリエチレングリコール）が使用されています。

ウイルスベクターワクチン（コロナワクチン）アストラゼネカのワクチンで DNA を無毒ウイルスに入れて細胞核に届けるもの。日本では今のところ使用していません。

ファイザー・モデルナの違い

ファイザー 市町村や病院で主に使われています。使用前に希釈が必要で手間がかかる。

モデルナ 大規模接種会場で主に使われています。希釈が必要ない。

発熱、腫れなどの軽微な副反応は、若干モデルナの方が多く報告されています。

アナフィラキシーは、若干ファイザーの方が多く報告されています。

集団接種について

学校集団接種については、文科省から「現時点で推奨するものではありません」と文書がきています。ですので、今のところ、境高校で集団接種の予定はありません。希望する場合は、市町村から接種券が届いたら各自で予約をすることになります。

ワクチン接種のために学校を休んだ場合は、欠席扱いにはしません。また、副反応で発熱等がある場合には、出席停止になります。解熱するまで自宅療養してください。

いじめや差別にならないように

文科省からの文書 新型コロナワクチンの接種を受けるまたは受けないことによって、差別やいじめなどが起こることがないように学校が指導すること。

- ・ ワクチン接種は強制ではないこと。
- ・ 周囲にワクチンの接種を強制してはいけないこと。
- ・ 身体的な理由や様々な理由によってワクチンを接種することができない人や接種を望まない人もいること。
- ・ また、その判断は尊重されるべきであること。

様々な考えを尊重しよう

打ちたい人

- ・ コロナに感染するリスクを下げられる。
- ・ 集団免疫を獲得して、もっと自由に生活したい。
- ・ 自分が打つことで、家族への感染リスクを下げたい。

打ちたくない人

- ・ 新しいワクチンで、長期的な健康被害のリスクがわからない。
- ・ コロナに感染した場合のリスクと、ワクチンのリスクを比べるとワクチンのリスクの方が高いと思う。
- ・ もうすぐ治療薬ができるからワクチンを打たなくてもいい。

打ちたいけど打てない人

- ・ 1回目のワクチン接種でアナフィラキシーを起こした人。
- ・ ワクチンの成分の PEG と、それに似た成分のポリソルベートにアレルギーのある人。

まだ決めていない人

- ・ 報道ではかなりの人が打っているみたいだけど、自分はどうしたらいいのかわからない。
- ・ 若い人はあまり打っていないから、まだ真剣に考えていない。
- ・ コロナもいやだけど、注射が嫌いだからどうしよう。
- ・ 持病があるので打っても大丈夫か心配。疾病のある人（心臓、腎臓、肝臓、血液、がんなど）は打てないわけではないが、打つ際には注意が必要だと言われている。
- ・ もうすぐ国産ワクチンができるから、それを待つべきかどうか考え中。
- ・ もう少し、周りの様子を見たいし、ワクチンの効果がどのくらい続くのかわからないから、秋に打った方がいいのではないかな？
- ・ ポリソルベートが配合された化粧品で顔が腫れてしまい、厚労省にワクチンを接種できるか電話相談したら、化粧品は多くの薬品が使用されているのでアレルギーの特定は難しいです。打つかどうかは主治医によく相談してください、と言われた。主治医と言える医師はいないので近所の内科医に相談したら、ろくに話も聴かずに「関係ない」の一言だけ。ワクチンの相談は聞き飽きたという様子。アナフィラキシーが怖くて決心できない。